● 選別聴力検査

選別聴力検査(オーディオメーター)判定基準は左右各耳の1kHzで30dB、4kHzで40dB(雇い入れ時検査では30dB)の検査音を聴かせて聴取可能であれば「所見なし」、不能であれば「所見あり」とします(日本耳鼻咽喉科学会の基準)。

なお、所見の表示内容については左右各耳単位に「所見なし」または聴力の低下音域「1kHz低下、4kHz低下、両音域低下」を示すようにしております。一方、従来の会話法聴力については「異常なし、右耳聴力低下の疑い、左耳聴力低下の疑い、両耳聴力低下の疑い」で所見表示を致します。

選別聴力検査(オーディオメーター)

表示		意味	生活習慣改善のポイント
1kHz	4kHz		
なし	なし	所見なし	1. 十分な休養をとる
あり	なし	1kHz低下	2. バランスの良い食事
なし	あり	4kHz低下	3. 環境改善
あり	あり	両音域低下	4. 騒音が激しい場所を避ける

左右各耳単位で表示

会話法

表示		意味	生活習慣改善のポイント
右	左		
正常	正常	異常なし	1. 十分な休養をとる
異常	正常	右耳聴力低下の疑い	2. バランスの良い食事
正常	異常	左耳聴力低下の疑い	3. 環境改善
異常	異常	両耳聴力低下の疑い	